検証結果【デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）活用事業】

| No. | 事業名 | 事業目的及び概要 | 事業実施状況 | 担当課における評価 | | 検証委員からの評価 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 所見 | 評価 | 所見 | 評価 |
| 1 | ＳＤＧｓ先進地域「にし阿波」における農泊観光推進プロジェクト（広域連携） | にし阿波での農業体験や教育旅行等で培われたＳＤＧｓに繋がる教育体系を、農泊エリアへの観光誘客に活用し、観光客・宿泊者の増加を図るとともに、地域住民の参画や関与を深めてシビックプライドの醸成につなげる。<br>また、農泊の拡大や充実、ＳＤＧｓを活用した新たな旅行商品の開発により、通常の観光や教育旅行よりも深い関係人口の創出を目指す。<br>加えて、世界農業遺産推進協議会を中心にＳＤＧｓ観光の核となる農村地域の保全・継承を図る。 | 民間事業者や「そらの郷」、行政（県・県西部2市2町）が広域に連携し、農泊受入家庭支援研修や関西・関東の旅行会社等への顧客開拓営業を実施した。また、「千年のかくれんぼブランド」認証商品として市内事業者の17品目を認証し、県内外のイベントで展示・販売した。そのほか、「にし阿波ツーリズムカレッジ講座」を実施する等、シビックプライドの醸成に取り組んだ。<br><br>【ＫＰＩ】<br>①にし阿波における農泊施設の延べ利用者数<br>目標値：5,100人（内、美馬市：2,140人）<br>実績値：9,845人（内、美馬市：3,386人）<br>②にし阿波における国内延べ宿泊者数<br>目標値：194,000人<br>実績値：200,457人<br>③にし阿波への移住者数<br>目標値：300人<br>実績値：358人 | 令和6年度のにし阿波圏域における体験型教育旅行の受入数は、過去2番目となる「6,000人泊」を超え、農泊施設利用者数は引き続き高水準を維持しており、これまで継続的に実施してきたプロモーションが大きな成果を挙げている。<br>また、アンケート調査結果によると、1人あたり旅行消費額の総額が対前年度比▲9.1%の26,406円とやや減少したものの、日帰り客の1人あたり平均旅行消費額は対前年度比+68.9%の12,884円という結果となった。 | ①本事業は地方創生に非常に効果的であった（指標が目標値を上回ったなど） | ・ＫＰＩが全て目標を達成していることは高く評価できるが、「滞在時間をより長くする仕掛け」、「教育旅行利用者以外の来訪者の増加」、「リピーターの獲得」、「地域内での旅行消費額のアップのための『食』コンテンツの強化」について、より一層の工夫と改善をお願いしたい。<br><br>・ＰＤＣＡサイクルを回し、計画に対する実績の数値に関して、その原因や要因を分析し、その結果を次の対策に活かしていただきたい。<br><br>・「儲かる観光」を達成するためには、観光客に市内で消費してもらうことが重要であり、訴求力のある目玉産品を生み出していく努力も必要である。農泊というコト消費からモノ消費にもつなげる今後の商品開発にも期待したい。<br><br>・旅行者全体の総額が減少している中で、日帰り客の消費額がプラスとなっている点については、一定の成果があったと考える。さらにブランド力の向上に取り組んでいただきたい。 | ①当該事業が総合戦略の達成に「有効であった」 |

| No. | 事業名 | 事業目的及び概要 | 事業実施状況 | 担当課における評価 | | 検証委員からの評価 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 所見 | 評価 | 所見 | 評価 |
| 2 | 美馬市「人生１００年時代」美と健康のまちづくり推進プロジェクト | 幅広い市民が「人生100年時代」とは何かを知り、「人生100年時代」にふさわしい人生設計を行うとともに、100歳人生の後半（高齢期）に健康で積極的に社会に参加し、それまでに培ってきた豊かな経験やスキル、「学び直し」によって身につけた知識等を地域社会で存分に発揮できる姿を目指す。<br>具体的には、「ジェロントロジー市民アンバサダー」の養成や活動支援、「美」を通じた高齢者の外出促進、「運動」と「栄養」へのアプローチによる健康づくり等、様々な取組を一体的・総合的に展開する。 | ・ジェロントロジー市民アンバサダーを養成するための講演会や連続講座、ワークショップを実施した。<br>・高齢者の学びや就労等に係る情報を発信したほか、健幸アンバサダー養成講座や美来創生みま学講座を実施した。<br>・高齢者の外出促進のため、福祉ネイルケア補助事業や美容教室を実施した。<br>・ウォーキングや体組成測定で、デジタル地域通貨ＭＩＭＡＣＡのポイントが貯まる健康ポイント事業を実施したほか、食に関する料理教室やイベントを実施した。<br><br>【ＫＰＩ】<br>①アンバサダー事業以外の取組への延べ参加者<br>目標値：1,930人<br>実績値：1,361人<br>②ジェロントロジー市民アンバサダー年間延べ活動日数<br>目標値：4,500日<br>実績値：1,579日 | 目標値に到達しなかったもののＫＰＩ①は約7割達成し、②も活動日数、目標達成率ともに昨年度より増加した。ジェロントロジー市民アンバサダーの活動日数については、活動報告書を用いることで、これまでは把握できていなかった活動実態を日数に反映することができた。<br>また、アンバサダーへの活動支援として、活動数に応じたＭＩＭＡＣＡポイント付与を行ったところ、モチベーションの向上につながったとの声をいただくなど、活動日数の増加に寄与していると考察する。<br>引き続きアンバサダー活動を後押しすることでジェロントロジーを普及し、「人生100年時代」美と健康のまちづくりを持続させていく。 | **③本事業は地方創生に効果があった（目標値を上回ることはなかったものの事業開始前よりも改善したなど）** | ・ジェロントロジーという名称や意識の普及にはまだ少し時間が必要かもしれないが、新しい地域づくりの核となる理念として醸成されることを強く期待する。ただ、アンバサダーが具体的に取り組むことができる「行動」「実践」については、もう少し平易にする工夫も必要では。健康づくりのアクションがＭＩＭＡＣＡに交換できる仕組みは、とても良い。<br><br>・「人生100年時代」への取組としては、評価できる。ジェロントロジーの範囲は広く、それぞれの分野で活動できており、ＭＩＭＡＣＡの付与によるモチベーションＵＰもおもしろい対策である。<br><br>・実績は目標値を上回ることはなかったが、取組は先進的であり今後の展開にも期待している。美と健康をテーマとしているが、高齢者が今後豊かな老後を送るためにはＩＴの知識や活用が必要になるため、ＩＴに関する学びも今後展開してほしい。また、活動把握についても、ＩＴの活用が重要である。<br><br>・ＫＰＩ②のアンバサダーの養成人数の目標設定が高すぎたのでは。ただ、目標達成に至らずとも事業参加者が一定数に達しているのは、健闘していると考える。 | **①当該事業が総合戦略の達成に「有効であった」** |